

行政調査報告書「市民文教常任委員会」

平成29年7月5日（水）～7日（金）

■岩手県滝沢市『総合型地域スポーツクラブについて』

総合型地域スポーツクラブとは、幅広い世代が各自の興味や関心・競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブである。

滝沢市の「チャグチャグスポーツクラブ」は、体育協会員の高齢化への対応と優れた選手の発掘という2点を課題及び目標としている。また、中学校の部活と連携しており、顧問の長時間勤務の解消にもつながっている事など本市としても参考にしていきたい。



■福島県郡山市『セーフコミュニティについて』



セーフコミュニティとは、地域の実情をデータを用いて客観的に評価し、地域住民、行政などが力を合わせて「安心して生活できる安全なまちづくり」に取り組む共通の関心をもった集まりをいう。

郡山市では地域活動団体、警察など広範囲からのデータを収集することで、各所との連携がより深まったことにより、市民や地元企業などが行う活動から見えてくる課題解決に繋がっているように感じた。今後は、本市も各団体、組織が連携して事業に取り組むことを考えていきたい。

■埼玉県川越市『文化財の耐震化について』

視察した「時の鐘」は、約400年前に建てられた後、大火により何度も焼失したが、再建され、現在に至っている。文化庁の補助事業の対象となったことから、時の鐘耐震化事業を実施した。後世に残す必要性を感じる一方、他の指定建造物の今後など課題を感じた。

本市にも川越市と同様の指定文化財があるが、あまり周知されていない。耐震化も行い、魅力を知らせ、まちの賑わいに繋げたい。

